

なみき通信



令和 7 年度桜並木学園つくば市立並木小学校 学校だより 11・10 月 31 日号

しなやかに、たくましく、そしてまっすぐに



14 日から 2 学期が始まり、子どもたちは新たな気持ちで学びを進めています。秋の深まりとともに、運動や学習により一層意欲的に取り組む姿が見られ、学校全体に前向きなエネルギーがあふれています。

10 日の 1 学期終業式では、「竹のしなやかさ」について子どもたちに話をしました。竹は、茎も根もとても硬い植物ですが、強い風が吹いても折れずにしなやかにしなり、やがて元の姿に戻ります。その強さと柔らかさの両方を支えているのが、竹の幹にある「節(ふし)」です。節があるからこそ、竹は折れることなく、まっすぐに、たくましく伸びていくことができるのです。

私は、この竹の姿に、子どもたちの成長の姿を重ねています。学校生活の中では、思うようにいかないことや、うまくいかないこともあります。それでも、失敗を恐れず、柔らかい心で受けとめ、何度でも立ち上がる—その「しなやかさ」こそ、これからの時代を生きる子どもたちに必要な力だと思います。

また、1 学期の終わりや行事ごとの「節目」を意識して自分を見つめ直すことも、大切な学びの力になっています。運動会、音楽会、委員会やクラブ活動など、一つひとつの経験が、子どもたちの「節」となり、心と体を強くしてきたように感じます。

2 学期の子どもたちが、竹のように、しなやかに、たくましく、そしてまっすぐに伸びていくことを願いながら、教職員一同、力を合わせて支えてまいります。

校長 大村 千博

世界で活躍する劇団「ラ・バラッカ」が並木小に！— 本物の芸術にふれる特別な時間「ファミリエ」上演 —



15 日、本校体育館にて、イタリア・ボローニャを拠点とする劇団「ラ・バラッカ」による舞台作品『ファミリエ』が上演されました。この作品は、ヨーロッパ各国をはじめ、キプロス、キューバ、中国など、世界各地で招聘されている人気作であり、海外の舞台芸術を学校の体育館で間近に体験できる、またとない機会となりました。

つくばカピオホールでも上演されている作品であり、そのような劇団が本校に来てくださったことは、たいへん光栄なことでした。子どもたちは目を輝かせながら、俳優たちの動きや表情に見入っていました。後日、再度カピオホールの作品を見に行ったご家族もあったようです。劇のあとの感想では、「言葉がなくても気持ちが伝わった」「人のあたたかさを感じた」といった声も多く聞かれ、言葉に頼らない身体表現から“家族”のつながりや温かさを感じ取り、想像力を大きく刺激された様子でした。

今回の実施は、PTA 文化委員会の皆さまのご尽力と PTA 費のご支援、さらにつくば市教育総務課の取組に支えられて実現しました。どうもありがとうございました。

1 年生 校外学習「こもれび森のイバライド」

「こもれび森のイバライド」に行きました。朝からわくわくした様子でバスに乗り込み、自然いっぱいの会場に着くと、まずクラフト体験でキューブキャンドルづくりに挑戦しました。色とりどりのキューブを選びながら、自分だけのデザインを考え、完成を楽しみに工夫する姿が見られました。出来上がったキャンドルを手にして、どの子も満足そうな笑顔を見せていました。ヤギなどの動物とふれあい、自然の中で生き物のあたたかさにもふれる貴重な体験もできました。

その後、広い芝生の上でおいしいお弁当を友達と食べ、ロープ、ブランコや遊具で思いきり遊びました。友達と協力し合い、助け合いながら活動する姿がたくさん見られ、心に残る楽しい一日となりました。



2 年生 町探検



生活科の学習で町たんけんに出かけました。6 月にみんなで歩いた場所にある「自分たちの町」の施設へ、実際に歩いていき、施設の見学や質問をすることのできる日です。子どもたちは、わくわくしながら出発しました。

並木中学校では、校門をくぐると、中学生のお兄さん・お姉さんがあいさつをしてくれました。校舎の中を見学し、理科室や体育館の大きさにびっくり！「ぼくも中学生になったらこんな勉強するのかな」「部活ってどんなことするの？」と、未来への期待がふくらみました。コンビニエンスストアにも行きました。店長さんからは

「24 時間あいているお店の工夫」や「いろいろな人が働いていること」を教えてもらい、子どもたちはメモをとりながら真剣に聞いていました。

帰り道や戻ってからの授業では、たくさんの気づきが生まれました。子どもたちにとって、学びと発見がいっぱいの町探検になりました。

3 年生 校外学習 ミュージアムパーク茨城県自然博物館 **ルド**

3 年生がミュージアムパーク茨城県自然博物館へ遠足に出かけました。朝から元気いっぱいの子供たちは、バスの中でも笑顔があふれていました。博物館に着くと、目の前に広がる大きな恐竜の骨格やマンモスの展示に大興奮でした。水の中を泳ぐ魚や動く地球儀などを前に、子どもたちは「どうして?」「すごい!」と声を上げながら熱心に見学していました。



今回の遠足では、自然や科学への興味を深めるとともに、友だちと協力して行動する姿がたくさん見られました。「どうしてこうなるの?」という小さな疑問が、これからの学習につながっていくことでしょう。保護者の皆様には、準備や送迎など多くのご協力をいただきありがとうございました。子どもたちにとって、学びと感動に満ちた一日となりました。

5 年生 パラスポーツ体験で広がる「みんなで楽しむ」世界 **ルド**



県立医療大学の先生、パラスポーツのアスリートをお招きして、5 年生がパラスポーツ「ボッチャ」を体験しました。ボッチャは、障害のある人もない人も同じルール・同じフィールドで楽しむことができるスポーツです。子どもたちはチームで作戦を考え、ボールの転がる方向を真剣な表情で見つめながら、当たった瞬間には歓声を上げて喜んでいました。ゲームを重ねるうちに、運動が得意な子もそうでない子も自然と声をかけ合い、力を合わせて作戦を立てる姿が見られました。どの子も主役になれるボッチャを通して、互いを認め合い、支え合うインクルーシブな社会を考える大切なきっかけとなりました。

5・6 年生 並木中等での科学実験教室



地域と学校等の連携の1つとして、地域にある並木中等教育学校の科学実験教室に5・6 年生の希望者が参加しました。「ドライアイスの上にシャボン玉を吹いたらどうなるだろうか?」という疑問をもたせてからの実験、「振ると色が変化する水」では、黄色の液体を振ると、赤色、さらに振ると緑色に変化する液体をつくりました。その現象を見て、「あれ?」「どうして?」という気持ちを大切に、色の変化の原因をつかませながら、高校の化学の内容も入れた説明がありました。参加者は生き生きと楽しそうに実験に取り組んでいました。本校で力を入れている、身近な現象に疑問をもち、そこから課題を見出し、それを楽しみながら試行錯誤しながら解決していく探究的な学びができたと思います。科学が面白い! 楽しい! と感じたのではないのでしょうか。

桜並木学園コミュニティ・スクール(CS)

地域・学校との連携として、12 日に並木まつりに参加し、「並木小なみまるカラフル人工いくら」の店出し行いました。本校の子どもたちや来年度に入学してくる就学児などが多数遊びに来てくれました。

11月8日(土)には、本校体育館で、CS 主催「マジシャンアキラ サイエンスマジックショー」(右のポスター)が行われます。本校の子どもたちだけでなく、地域の方、保護者も観覧自由です。ぜひ、ご参加ください。



11月の主な予定

- | | |
|---|----------------------------|
| 3日(月)文化の日 | 5日(水)月曜日課・親子学習会 4 年プラネタリウム |
| 6日(木)朝読み聞かせ1~3年・委員会活動 | |
| 7日(金)校内音楽会 9:00~1年・3年・5年・10:15~2年・4年・6年 | |
| 8日(土)CS 地域と連携「サイエンスマジックショー」10:00~体育館 | |
| 10日(月)避難訓練(火事)・持久走練習スタート(体育)・居住地交流 | |
| 11日(火)朝読み聞かせ4~6 年・中休みの持久走練習~27 日まで・5 年いじめ防止教室 | |
| 12日(水)PTA 主催護身術講座①②8:50~4 年③④10:15~3 年 | |
| 13日(木)県民の日・「科学の甲子園キッズ」5年3名・6年3名 | |
| 18日(火)~21日(金)特別日課 5 時間授業・希望面談 | 19日(水)委員会発表(保健・運動) |
| 20日(木)特別日課 5 時間授業自由参観日③④ | 23日(日)勤労感謝の日 24日(月)振替休業日 |
| 25日(火)特別日課 5 時間授業・希望面談予備日 | |
| 26日(水)昼読み聞かせ 国際理解講座②3・4年・6 年並木中オープンキャンパス | |
| 27日(木)28日(金)5 年さしま少年自然の家 | 27日家庭教育学級 給食試食会 |

